

明けましておめでとーいっせーます



羽村市長
橋本弘山

市民の皆様におかれましては、初春を清々しい気持ちでお迎えのこととお喜び申し上げます。また日頃から市政運営にご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症への対策を最優先事項として取り組んでまいりました。新型コロナウイルス感染症に関しては、さまざまな局面において多くの方が困難に直面されたことと存じます。現場の最前線に直接的に対応していただいている医療従事者や介護・福祉従事者の皆様をはじめ、市民の皆様、事業者の皆様ともに、それぞれの立場から感染予防にご理解とご協力をいただき、改めて

お礼を申し上げます。

そのような状況ではありましたが、多くの方のご協力により、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が無事に開催されたことは、明るい話題の一つでありました。

また、昨年は市制施行30周年にあたり、10月には記念式典を執り行うことができた。市の発展に尽くされた方々や団体の皆様、また輝かしい市の未来を描いた子どもたちと、30周年を祝うことができたことは、望外の喜びでした。

現在、人口減少、急速な少子高齢化、ICTの進展、自然災害の発生、新型コロナウイルス感染症の拡大など、日常生活や地域経済を取り巻く環境が大きく変化しています。加えて、暮らしやすさや多様性のある社会の実現が求められるなど、さまざまな事柄が複雑に関わり合う時代を迎えています。

将来にわたって持続可能なまちとして、また、日々の暮らしに充実感と、未来への希望を抱くことができるまちであるためには、市民・事業者の皆様が一丸となって、これ

からのまちづくりに取り組んでいくことが大切だと考えています。

本年4月には、第六次羽村市長期総合計画がスタートします。昨年策定した羽村市基本構想では、将来像を「まちに広がる笑顔と活気 もっと！くらしやすいまち はむら」と定め、その実現に向けたまちづくりの方向性として、「自分らしく生きる」「成長をはぐくむ」「スマートにくらし」「にぎわいを創る」「くらしを守る」という5つのコンセプトと自治体運営の方針を掲げており、今後はこのまちづくりの方向性に沿って施策を展開していきます。

社会経済情勢が大きく変化する中で、市の財政も依然として厳しい状況は続きますが、積極的な行財政改革の推進を図りつつ、皆様の羽村市での生活が「もっと！くらしやすい」ものとなるよう、これからの羽村市のまちづくりに、全身全霊で取り組んでまいります。

本年も引き続き、市民の皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



新春イベント

動物公園 新年は1月2日(日)から開園

干支の記念入園券を販売



干支(トラ)の記念入園券

昭和58年から販売している記念入園券。今年も市内在住の漆工芸家・並木恒延さんにデザインをお願いしました。

販売開始
1月2日(日)午前9時から

販売場所 動物公園入口改札

販売総数 1000枚

販売価格 1枚400円

有効期限 12月31日(土)

問合せ
動物公園 ☎579-4041



季節かざり「お正月かざり」

男児が生まれて初めて迎えるお正月に贈られる縁起物、破魔弓を紹介します。

期間 1月4日(火)～10日(月・祝)

会場 オリエンテーションホール

郷土博物館のお正月

新年は1月4日(火)から開館

問合せ 郷土博物館 ☎558-2561

開館時間：午前9時～午後5時(旧下田家住宅は午後4時まで)

休館日：祝日を除く月曜日



企画展「むかしのくらし」

小学校3年生の郷土学習に関連した展示です。昭和期に実際に使われていた道具から、むかしと今のくらしの変化を学習できます。

期間 1月4日(火)～23日(日)

会場 学習室



※「むかしのくらし」と「まゆ玉かざり」の写真はいずれも過去の展示の様子です。

状況により、施設が休館したり、事業などが変更・延期、中止になる場合があります。最新情報は市公式サイト・各施設のウェブサイトなどで確認してください。